

# ISE CULTURAL FOUNDATION

555 Broadway, New York, NY 10012 t.212.925.1649 www.iseny.org

## 「ボルケーノ・ラヴァーズ -アイスランドと日本から」

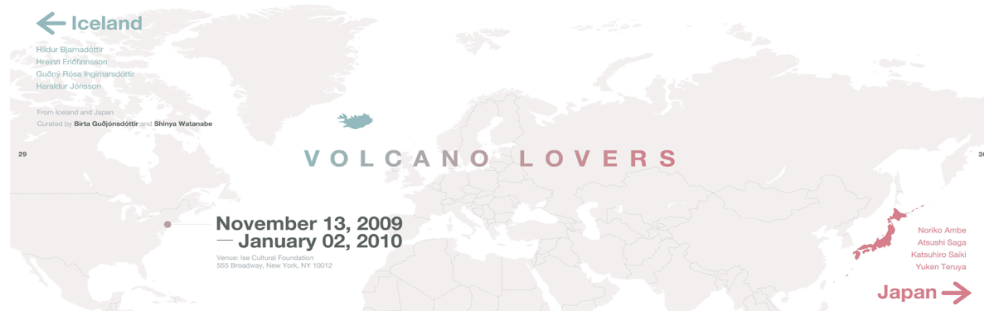
2009年11月13日から2010年1月13日

**オープニング・レセプション：11月13日（金）午後6時から8時**

**アーティスト・トーク：11月14日（土）午後2時から4時**

アーティスト：ヒルデュル・ビヤナドッティル、フライン・フリドフィンソン、グッドニー・ローザ・イングマルドッティル、ハラルデュール・ヨンソン、安部典子、嵯峨篤、齋木克裕、照屋勇賢

キュレーター：ビルタ・グジョーンズドッティル & 渡辺真也



悲劇に関する、たとえばこんな視点。それはもう起きてしまったこと。誰がこんなひどいことを予期できただろう。決して、誰にもできやなかった。最悪の事態だ。でも、これが最悪だとしたら、それはユニークだということ。つまり、繰り返すことはない、ということだ。もう忘れよう。不吉なことを言うのはやめよう。もうひとつの視点。いまのところただ一つの視点。一度起こったことは、また起こりうるのだ。わかるはず。待つしかない。確実なものとするには、長く待たなくてはならないかもしれないけれど。

私たちは戻ってくる。私たちは帰ってくる。

スーザン・ソントグ 「The Volcano Lover (邦題：火山に恋して)」より

イセ・カルチュラルファンデーションでは、アイスランド人キュレーターのビルタ・グジョーンズドッティル氏と日本人キュレーターの渡辺真也氏による「ボルケーノ・ラヴァーズ -アイスランドと日本から」と題するグループ展を開催致します。

アイスランドと日本の間には歴史的に親密な関係はなかったものの、この2つのネーションが文化的・地理的共通点を持つことは明白である。両国はユーラシア大陸の西と東のほぼ対極に位置する島国であり、双方とも地理的特徴として火山を有し、そのことに多大な影響を受けてきた。本展示では、こうした既存の類似点の先にある、現代日本とアイスランドの生活様式における共通点を指摘し、さらにそれらの文化的要素が今日の両ネーションに暮らす人々にとってどんな意味があるのかを、探求してみたい。

プレートテクトニクス研究により、アイスランドは、大西洋中央海嶺の隆起に沿った地球の割れ目、すなわち分離した境界の両側に新たな地殻を形成した北アメリカプレートとユーラシアプレートの割れ目から生まれたことがわかってきた。一方日本は、太平洋、フィリピン、ユーラシアの3つのプレートの接合箇所の上に形成され、そのため高い山々や深い海溝といった地形を持つに至ったのである。

言い換えれば、地球はアイスランドで生まれ、日本において消滅している。そして、両ネーションは地球の変容、構築、脱構築に伴うパワーとエネルギーを共有していると言える。火山地形と島国文化には、地政学の伝統上の類似点が見られ、両国ともアニミズム——例えばアイスランドにおけるアサトゥルや、日本の神道——の影響を強く受けているのである。

スーザン・ソントグの小説「火山に恋して」からタイトルを引用した本展示は、類似した背景を持つ2つの異なるネーションにおける、ミニマルな表現に潜むエネルギーと感情を捉えようとするものである。出展作品は、いずれも感覚的な体験、相対性、日々の慣習の複雑さといったテーマを、巧みにさぐっている。

そこから、私たちは、自然や地理によって大きな影響を受ける「創造」に対する理解を、日常生活の中の一見ありきたりな領域にまで深めることができる。私たちは、この展示が参加作家にとって今後の創作活動の中で、また来場者はこれからの日常生活において、これら自然的・地理的要素を探求するプラットフォームとなることを願っている。

後援：在ニューヨーク日本国総領事館、在ニューヨーク・アイスランド総領事館

この展覧会は、Center for Icelandic Art (CIA)、花王芸術科学財団、イセ文化基金からの助成金により開催致します。

**CIA.IS**  
CENTER FOR ICELANDIC ART  
A PARTNERSHIP FOR ICELANDIC ARTISTS

ISE CULTURAL FOUNDATION is established in 1984 and a non-profit organization supporting emerging curators and artists.